

スターチス・シヌアータの挿し芽栽培における年内採花をめざした定植時期						
[要約] スターチス・シヌアータの挿し芽栽培で定植時期を7月下旬に行うことによって、ディバーナリゼーションすることなく年内採花が可能で、8月下旬定植に比べ収量が増加する。						
長崎総農林試・野菜花き部・花き科	専門	栽培	対象	花き類	分類	指導
資料名：平成12年度花き試験成績書						

[背景・ねらい]

スターチス・シヌアータは、本県の各地で冬～春に採花する作型で栽培されている。スターチスの挿し芽栽培は低温処理を行わずに年内から採花ができる技術である。スターチス・シヌアータの冬季栽培で問われるのは年内からどれくらい採花できるかである。そこで、年内の採花本数の増加の可能性を探るため、通常8月下旬とさせている定植時期を7月下旬に前進化させて検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1．挿し芽栽培では、高温期に定植してもディバーナリゼーションすることなく抽だいし、年内から開花する（表1、表2）。
- 2．7月下旬に定植することによって年内の採花本数は8月下旬定植より増加する（表1、表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1．高温期に定植するので、遮光資材、マルチ資材の設置等、降温対策に努める。

[ 具体的データ ]

表1 年内株当たり採花本数および切り花品質

定植時期	採花本数	切り花長	切り花重	花茎径
	本	cm	g	mm
7月25日	5.9	73.7	62.4	5.9
8月25日	0.7	95.7	172	9.3
F検定	0.01	0.01	0.01	0.01

表2 月別株当たり採花本数の推移

定植時期	9月	10月	11月	12月	計
	本	本	本	本	本
7月25日	0.3	1.8	2.2	1.6	5.9
8月25日	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7

表3 育苗方法

親株台刈り	6月 1日 (下葉を残して台刈り)
挿し芽	6月15日
発根剤処理	I B A ( 0.5% ) を粉衣
挿し芽用土	パーライト
灌水	朝、昼、夕の3回ジョロで灌水
遮光率	30%

表4 耕種概要

栽植様式	畝幅120cm 条間30cm 株間60cm 千鳥植
土壌改良	牛糞堆肥100kg/a ホウ砂 40g/a
施肥	元肥無し 追肥 N、P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 、K <sub>2</sub> Oを毎月0.05kg/a
マルチ資材	アルミ蒸着マルチ使用
遮光	9月まで遮光率60%で遮光
最低温度	15

[ その他 ]

研究課題名：栄養系スターチス・シヌアータの高品質生産技術確立

予算区分：県単

研究期間：平成12年度(平成10～12年)

研究担当者：馬場重博